

事業の基礎情報

実施主体	三重県多気町
事業実施地域	三重県多気町、明和町
共創の種類	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	地域・商業・医療・デジタル×交通
共創パートナー	三重県明和町、三重トヨタ、三重近鉄タクシー、アケミ交通、明和タクシー、デューポイントDCモール金剛坂店・医療機関、オリエンタルコンサルタンツ、3DX
運行形態	AIデマンド交通
運行主体	近鉄タクシー、アケミ交通、明和タクシー

取組の概要

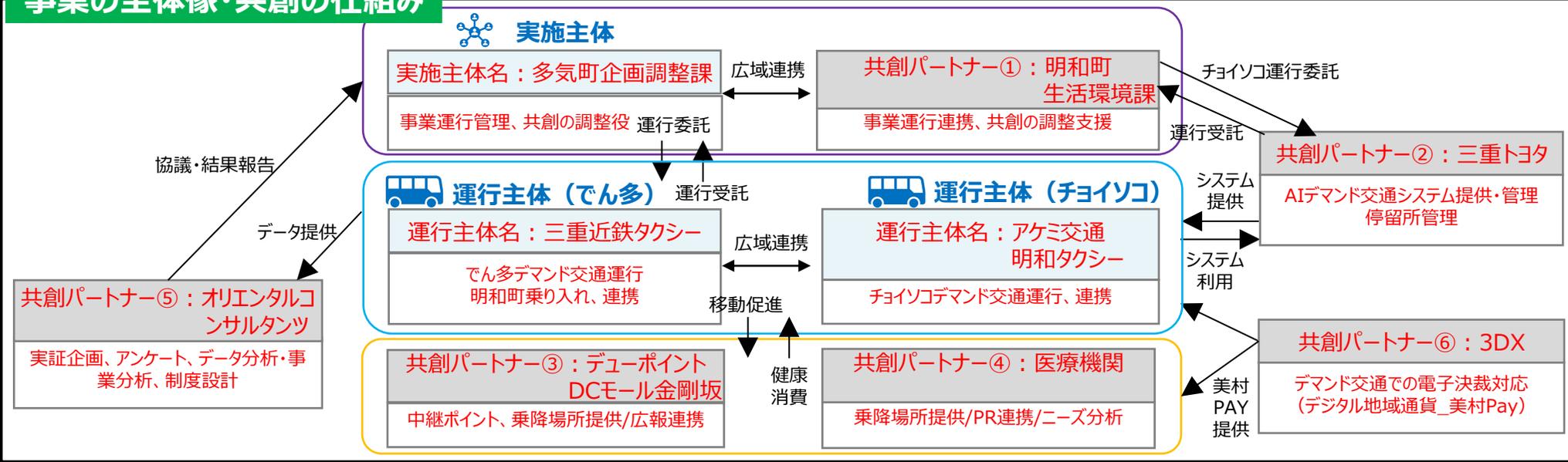
(現状の地域課題と事業目的)

多気町から明和町のクリニックや商業施設への移動や、明和町から多気町の交通結節点や商業施設への移動ニーズがあるが、現状町を跨ぐ路線バス等の公共交通がなく、少子高齢化が進む地域であり、免許返納後の高齢者や運転免許を持たない中高生等の移動確保が課題となっている。また、当該ルートにかかる多気町の町営バス路線も一部廃止となる。一方で、両町ともデマンド交通をそれぞれ運行しているが、多気町側はAI未対応のため、同一のAIデマンド交通システムでの広域連携により、両町民の円滑な移動を実現し、持続可能な広域生活圏を目指す。

(事業の概要)

行政・公共交通事業者・商業施設・医療機関等の連携・協働により、両町の医療・商業集積地域や交通結節点といった広域生活圏内での移動を双方のデマンド交通の連携により可能とすべく、多気町が明和町と同一のAIデマンド交通システムを導入することで、広域連携の交通サービスを提供する。本事業ではまず、公共交通での移動に頼らざるを得ない65歳以上の高齢者・障害者を利用対象とし、両町民の日常生活における行政間の移動を確保しつつ、医療・商業施設等との連携やデジタル地域通貨「美村Pay」の活用により、両町民の外出機会の促進につなげ、地域の活性化を促す。あわせて、行政、連携・協働する公共交通事業者において広報等での需要喚起を行い、行政間を繋ぐ移動サービスによる持続可能な広域生活圏を目指す。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

本事業では、多気町、明和町で公共デマンド交通を運行する地域のタクシー事業者が連携して広域での交通サービスを提供する。国内の地域公共交通のほとんどが行政単位での運行であるが、それは必ずしも地域住民の生活圏とは一致しない課題があった。本事業において行政間、交通事業者間で連携することにより、地域住民の生活圏にフィットする公共交通ネットワークの形成を図る。また、行政・交通事業者だけでなく、医療機関、商業施設との連携による健康増進、外出機会の拡大、経済活動の活発化のほか、デジタル地域通貨（美村PAY）の運用主体もサービス連携することで、デジタル行政サービスの普及促進にも寄与し、多面的な相乗効果を図る。

(実証事業により見込まれる効果)

■ 本事業の実施によって、地域へもたらされる効果

多気町から明和町金剛坂の医療・商業集積エリアだけでも、年間来訪者が約1万人と推定。そのうちの3～4割程度が65歳以上の高齢者とみられ、高齢者自らが自家用車で移動したり、家族の送迎に頼っている。本事業によって、外出機会の拡大、交通安全の向上、健康維持・増進、家族の送迎負担の開放、広域生活圏内の経済の活性化、マイカー移動抑制によるCo2排出量の削減、美村PAYの活用により、高齢者も含めたデジタルライフの普及促進など、幅広い分野へ寄与することができる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

項目	令和6年度												実施主体	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1. 補助事業応募	応募 ↔													多気町
2. 補助事業交付決定		交付申請・交付決定 ↔												多気町
3. 実証事業の計画準備			全体計画・データ収集・運行・管理・広報PR等の計画準備 ↔											多気町/明和町/運行主体/ 三重トヨタ/医療機関/商業 施設/オリコン/3DX
4. 法定協議会の開催			両町の法定協議会での運行計画変更の合意形成 ↔											多気町/明和町/運行主体
5. 実証事業の実施	地域・医療・商業×交通			分野ごとの計画・準備 -----↔				実証事業の実施 ↔					多気町/明和町/運行主体/ 三重トヨタ/医療機関/商業 施設/オリコン	
	デジタル×交通			分野ごとの計画・準備 -----↔				実証事業の実施 ↔					多気町/明和町/運行主体/ 商業施設/オリコン/3DX	
6. 利用状況・アンケート等データ収集							↔						多気町/明和町/運行主体/ 医療機関/商業施設/オリ コン	
7. 実証事業の実績確認、本格実装に向けた事業分析等のとりまとめ										↔				多気町/明和町/運行主体/ 三重トヨタ/オリコン
8. 実証事業報告書作成											↔			多気町/明和町/運行主体/ 三重トヨタ/オリコン

(補助事業実施後の予定)

本実証運行によるニーズや収益性を鑑みながら、脱炭素促進の観点に加え、路線バス補助や町営バス運行経費の縮減の代替交通として、行政側で公共デマンド交通の運行経費の財政措置を継続していく。

具体的には、実証運行でのアンケート結果や、運行経費と利用料金による収益性等を検証しながら、広域連携の方法、範囲、他分野との共創によるサービス拡大、適切な料金設定などへ反映し、継続展開していく。

また、デマンド交通車内での広告費徴収や、停留所のある店舗からの協賛金を運行経費の原資に充てるなど、収支の改善を図り、持続可能な交通サービスを目指す。